

【第52号】  
平成29年12月28日

福島県相双建設事務所

# 復旧復興だより



相双建設事務所  
マスコット  
キャラクター  
「ピッコロマン」

【この便りは、福島県相双管内の復旧・復興事業の進捗状況や地域づくり活動等の取り組みをお伝えするものです】

かいばま

## 渋佐萱浜地区海岸の進捗状況をお知らせします！！

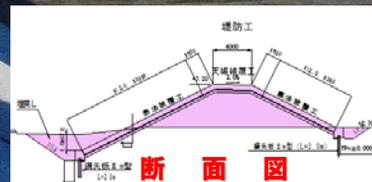
※当事業監督員のコメント  
(愛知県からの派遣職員山本主査)  
“愛知県より参りました。  
福島県のために一生懸命に  
頑張ります”



太  
平  
洋



福島県南相馬市



本画像は土木部職員自らがドローンで撮影しました！

当事務所では、震災の津波で被災した渋佐萱浜海岸堤防約2.8km(南相馬市)を復旧しており、平成30年6月開催の全国植樹祭に向け、約95%が完了しております。数十年～百数十年の頻度で発生する津波などに対応できるよう、堤防の高さを震災前から1m高くし、T.P.+7.2mとしました。また、コンクリートを厚くするなど、津波に対して粘り強い構造にしています。一日も早く堤防工事を完成させ、災害に強く、安全・安心の向上につながる生活環境の整備に努めてまいります。

## ◆八木沢トンネルが平成29年度内に開通します！！



施工中の八木沢トンネル



冬期の八木沢峠  
急カーブ区間

八木沢工区 L=2,860m

福島県南相馬市～飯館村

「ふくしま復興再生道路」に位置づけられている県道原町川俣線の八木沢トンネルについて、トンネル工事が順調に進み、平成29年度内に開通できる見込みとなりました。これにより八木沢峠の急カーブ区間や急勾配が解消されます。

## ◆ 工事情報共有システム体験会が開催されました!!

平成29年12月1日に福島県建設業協会相馬支部の主催による工事情報共有システムの体験会が開催されました。体験会当日は、業者担当者よりプレゼンテーションが行われ、地元の建設会社14社25名の参加者は、持参したパソコン等により、実際の使い勝手などを確認しました。システムの普及により、業務効率化が図られ、復旧復興の加速化に寄与することが期待されます。



体験会の様子

## ◆ 若手技術者・女性技術者による意見交換会が開催されました!!

平成29年11月29日に相双管内の建設業に関わる若手技術者・女性技術者による意見交換会が開催されました。当地域では、復旧・復興事業が未だ最盛期を迎える中、若手技術者・女性技術者の力は必要不可欠となっており、発注者・受注者（測量設計・建設工事）の垣根を越えて連携することが、今後の復興を成し遂げるためには必要であるとの観点から、今回の意見交換会は、「ものづくり」のパートナーとしての信頼関係を構築することを主な目的として開催されました。当日は、「技術力の向上」や「若手技術者不足の解消」など、建設業に係る各種テーマについて、官民合同で若手技術者や女性技術者が課題や解決策を模索し、活発な意見交換が交わされていました。



意見交換

活発な意見交換がされたドン♪



意見発表



## ◆ 災 害 へ の 対 応 状 況

平成29年12月18日～22日にかけて、本年10月に発生した台風21号による被災箇所の「災害査定」が実施されました。災害査定は国の査定官等が被害状況を現場等で確認し、復旧工法と工事費用を迅速に決定する行為です。今回の査定により、二級河川小泉川等、管内16カ所の被災箇所について、復旧工法・費用を確定することができました。今後、早期に工事着手し、一日も早い復旧を目指してまいります。



現場での査定状況

## ～ 今 月 ( 1 2 月 ) 開 催 の 地 域 づ くり 活 動 の 紹 介 ～

### ◆ かえっこバザール〈冬〉のボランティア活動が実施されました!!

平成29年12月10日に南相馬市原町区の「南相馬市市民文化会館」にて、「かえっこバザール@ゆめはっと」が開催されました。今回は12月が「地球温暖化防止月間」であることや同日にスウェーデンで授賞式が行われた「ノーベル賞」にちなんだワークショップが開催されました。相双ふるさと応援隊も運営のボランティアとして参加し、子ども達と一緒にワークショップを行うことで、隊員それぞれがあらためて、学びや気づきを得ることができました。



ワークショップの様子

### ◆ 東日本大震災の災害復旧工事の進捗状況 (平成29年11月末)

東日本大震災で被害を受けた当事務所所管の道路、河川、海岸等の災害復旧工事の進捗状況は右に示すとおりです。

(帰還困難区域で査定が未実施の箇所は含まれていません。率は事業箇所数で算出した割合です。)

